

基本研修（講義）

日程	時間割	科目	受講時間数（時間）
第1日目	1月13日(水)	9時30分～45分	オリエンテーション
		9時45分～11時15分	1 人間と社会
			①介護職員と医療的ケア
		11時15分～13時15分	②介護福祉士等が喀痰吸引等を行うことに関わる制度
			2 保健医療制度とチーム医療制度
			①保健医療に関する制度
第2日目	1月20日(水)	9時30分～12時	②医療的行為に関係する法律
			③チーム医療と介護職員との連携
			3 安全な療養生活
			①喀痰吸引や経管栄養の安全な実施
		14時～18時	②救急蘇生法
			計
第3日目	1月27日(水)	9時30分～12時	4 清潔保持と感染予防
			①感染予防
			②職員の感染予防
			③療養環境の清潔、消毒法
		13時～16時	④滅菌と消毒
			5 健康状態の把握
第4日目	2月3日(水)	9時30分～13時	①身体・精神の健康
			②健康状態を知る項目（バイタルサインなど）
			③急変状態について
			計
		14時15分～17時30分	6 高齢者および障害児・者の喀痰吸引論
			①呼吸のしくみとはたらき
第5日目	2月17日(水)	9時30分～17時 (昼休憩 1 時間)	②いつもと違う呼吸状態
			③喀痰吸引とは
			④人工呼吸器と吸引
			⑤ごどもの吸引について
		14時15分～18時15分	⑥吸引を受ける利用者や家族の気持ちと対応、説明と同意
			計
第6日目	2月24日(水)	9時30分～18時 (昼休憩 1 時間)	⑦呼吸器系の感染と予防（吸引に関連して）
			⑧喀痰吸引により生じる危険、事後の安全確認
			⑨急変・事故発生時の対応と事前対策
			7 高齢者および障害児・者の喀痰吸引実施手順解説
		14時15分～18時15分	①喀痰吸引で用いる器具・器材とそのしくみ、清潔の保持
			②吸引の技術と留意点
第7日目	3月3日(水)	9時30分～18時30分 (昼休憩 1 時間)	計
			③吸引の技術と留意点
			④喀痰吸引 委ともなうケア
			⑤報告および記録
		14時15分～18時15分	8 高齢者および障害児・者の経管栄養概論
			①消化器系のしくみとはたらき
第8日目	3月10日(水)	9時30分～18時 (昼休憩 1 時間)	②消化・吸収とよくある消化器の症状
			計
			③経管栄養とは
			④注入する内容に関する知識
		14時15分～18時15分	⑤経管栄養実施上の留意点
			⑥子どもの経管栄養について
第9日目	3月17日(水)	9時30分～18時30分 (昼休憩 1 時間)	⑦経管栄養に係る感染と予防
			⑧経管栄養を受ける利用者や家族の気持ちと対応、説明と同意
			⑨経管栄養により生じる危険、注入後の安全確認
			⑩急変・事故発生時の対応と事前対策
		14時15分～18時15分	計
			9 高齢者および障害児・者の経管栄養実施手順解説
第10日目	3月24日(水)	9時30分～18時30分 (昼休憩 1 時間)	①経管栄養で用いる器具・器材とそのしくみ、清潔の保持
			②経管栄養の技術と留意点
			③経管栄養に必要なケア
			④報告および記録
		14時15分～18時15分	計
			10 経管栄養の技術と留意点

基本研修（演習）

第9日目	3月17日(水)	9時30分～18時30分 (昼休憩 1 時間)	救急蘇生法（演習）	1
			喀痰吸引（演習）	7
			口腔内の喀痰吸引	
			鼻腔内の喀痰吸引	
			気管カニューレ内部の喀痰吸引	
			計	8
第10日目	3月24日(水)	9時30分～18時30分 (昼休憩 1 時間)	経管栄養（演習）	8
			胃ろう又は腸ろうによる経管栄養	
			経鼻経管栄養	
			計	8

実地研修

研修期間	2027年3月25日（木）～2028年3月24日（金）	1. 口腔内吸引（10回以上） 2. 鼻腔内吸引（20回以上） 3. 気管カニューレ内部吸引（20回以上） 4. 胃ろうまたは腸ろうによる経管栄養（20回以上） 5. 経鼻経管栄養（20回以上）
------	-----------------------------	---